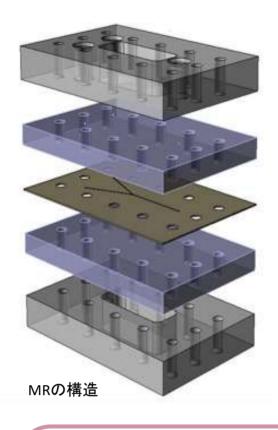
マイクロリアクター



多彩な流路パターン



3 液供給流路



T 字衝突型流路

3 液供給流路





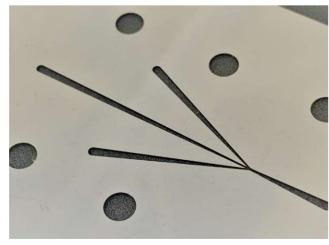


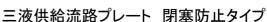


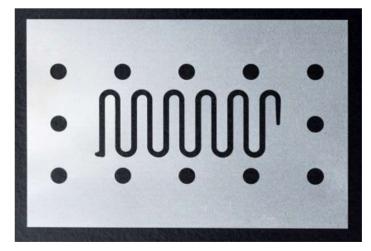
90度逆型流路

3 液供給流路

- □ 混合・熱移動・反応の精密制御と迅速化 ⇒ 高性能・高機能
- □ 装置やシステムの小型化 ⇒ 省資源・省エネルギー・脱炭素化
- □ 過酷条件反応を操作可能に(爆発回避) ⇒ 安全性の向上
- □ SUS316を標準とし、ハステロイ、ニオブ、タンタル、ガラス等 各種材質に対応可能







光リアクター用 流路プレート

マックエンジニアリング株式会社

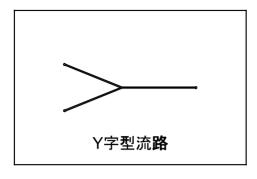


〈フローリアクター開発センター〉 岡山県浅口市鴨方町六条院中1353

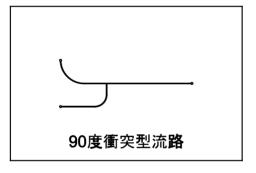
https://www.mr.makeng.co.jp Email: info@makeng.co.jp

2流路標準パターン

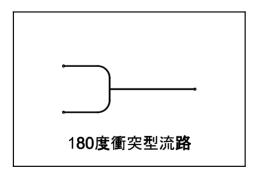






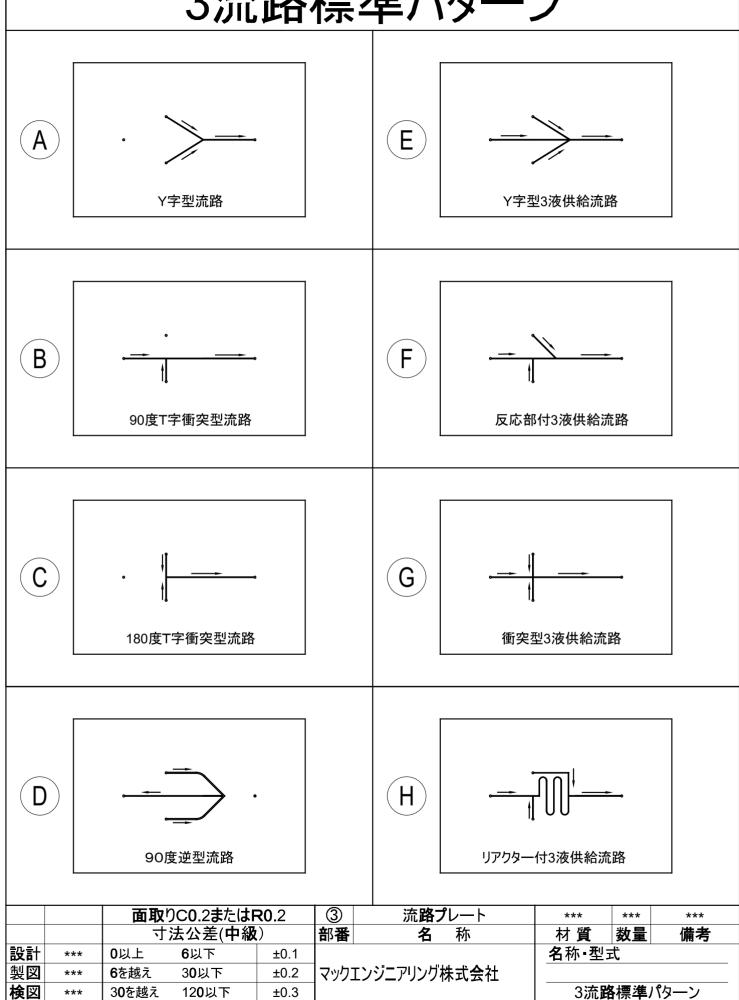






		面取りC0.2ま たはR0.2			3	流 路プ レ―ト	***	***	***
		寸法公差(中級)			部番	名 称	材質	数量	備考
設計	***	0以上	6以下	±0.1			名称•型式		
製図	***	6を越え	3 0 以下	±0.2	マック	エンジニアリング株式会社			
検図	***	3 0 を越え	12 0 以下	±0.3			2流路標準パターン		
日付	***	12 0 を越え	400以下	±0.5	図番	******			
尺度	***	400を越え	1000以下	±0.8					

3流路標準パターン



日付

尺度

400以下

1000以下

±0.5

±0.8

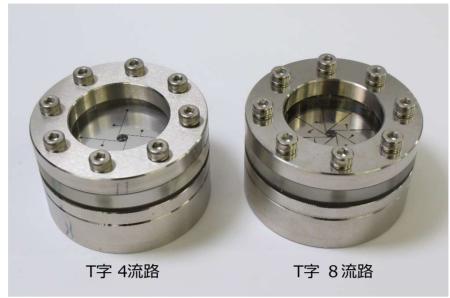
図番

120を越え

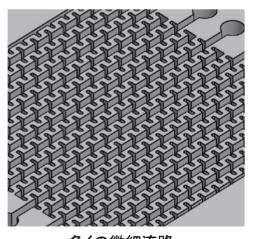
400を越え

集積型マイクロリアクター





- Y字、T字のマイクロリアクターのナンバリングアップ
- □ ポンプの台数を変えずに量産検討
- 実験から生産へのスケールアップに最適で、通常マイクロリアクターの数百倍のスケールアップ (毎分1L~をクリア)
- 2 液混合で 1 液当り4流路、16流路、64流路、256流路の4種類の微細流路パターン
- □ コンパクトなため実験室内で量産検討が可能



多くの微細流路



毎分1ℓ/min 実験風景

マックエンジニアリング株式会社



〈本社〉 岡山県倉敷市玉島乙島8252-35

〈フローリアクター開発センター〉 岡山県浅口市鴨方町六条院中1353

https://www.mr.makeng.co.jp Email: info@makeng.co.jp

マイクロスケールCSTR



CSTRラインアップ

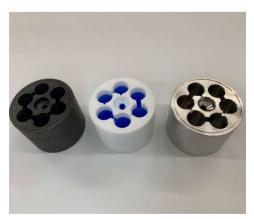
- 常圧型(溝・穴・ ハイブリッド)
- 密閉型 (1MPa未満)
- 高圧型 $(\sim 20 MPa)$
- マイクロ波

※マグネチックスターラーによる駆動

- □ 実験用にマイクロスケール化した完全混合型の連続槽型反応器
- □ バッチ合成から連続フロー合成への移行が極めてスムーズ
- □ 加熱・冷却・高圧・マイクロ波・光反応・晶析等も可能
- 本体材質は SUS316L、PTFE、トーカベイトの3種 (ハステロイ等他の材質もオプション可)
- □ 1つの反応槽の内容量は約3ml、6槽液張りで約15ml



高圧型CSTR



常圧型(溝/ハイブリッド) CSTR本体



CSTRとマグネチックスターラ-

マックエンジニアリング株式会社



〈本計〉 岡山県倉敷市玉島乙島8252-35

〈フローリアクター開発センター〉 岡山県浅口市鴨方町六条院中1353

https://www.mr.makeng.co.jp Email: info@makeng.co.jp

「流せば分かる」フローリアクター

密閉型マイクロスケール CSTR



【特長】

- 1. 流路閉塞が無い
- 2. 触媒(Pd/C)スラリーを連続して注入・抜き出し可能
- 3. CSTR 本体(材質 SUS316L)の耐圧: 最大 0.9MPa
- 4. 圧力損失が気にならない
- 5. 加熱冷却が可能
- 6. ガラス製内蓋に交換すれば、反応槽内部が見える

【使用例:連続接触水素化(水添)反応】

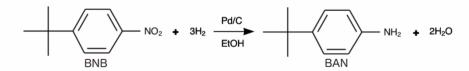


【動画:連続接触水素化反応の実施例】



【詳細内容:マック技報 Talk 003】





【反応条件】

- ・温度 室温
- ・水素圧力 0.15MPa(ゲージ圧) ・・・絶対圧 0.25MPa
- ・Pd/C 使用量 BNB: Pd=100:1 (モル比)
- ・滞留時間(反応時間) 1時間

【結果】

- ・TLC 分析 メルク社シリカゲル 60F254、UV254nm 検出 (参照:右写真)
- ・収率 >99% (GC-FID 内部標準法による) ※ただし、副生成物の痕跡あり。



SM: 出発物質

CO: SM と RM の重ね打ち

RM: 反応混合物

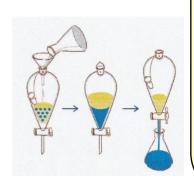
のマックエンジニアリング株式会社

- ・本社 〒713-8103 岡山県倉敷市玉島乙島 8252-35 TEL 086-522-5276 FAX 086-522-0552
- ・フローリアクター開発センター

〒719-0525 岡山県浅口市鴨方町六条院中 1353 TEL0865-54-0311 FAX0865-54-0322

ミキサーセトラー(分液漏斗のフロー化)

分液漏斗だと・・・



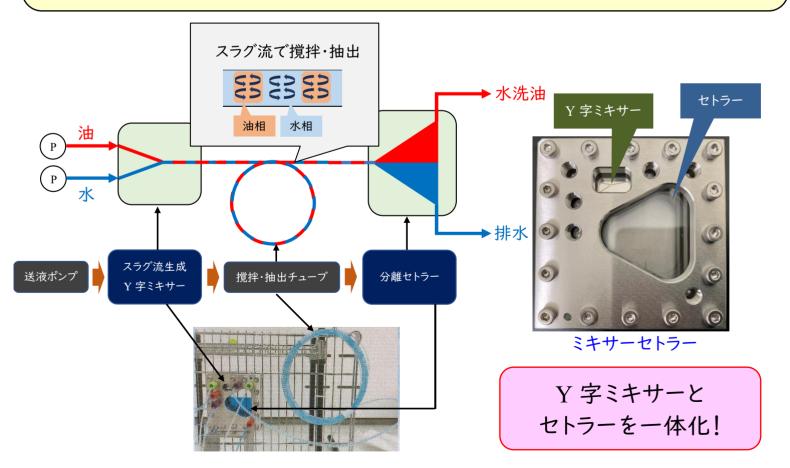
問題点

- ガラス容器を振り回すので危険。
- ガスが多く発生すれば処理液が激しく飛散。
- 作業員の力量で結果に差が出る。
- 容器を振り続ければ非常に疲れる。
- 工程が途切れて、連続化できない。
- 自動化が難しい。

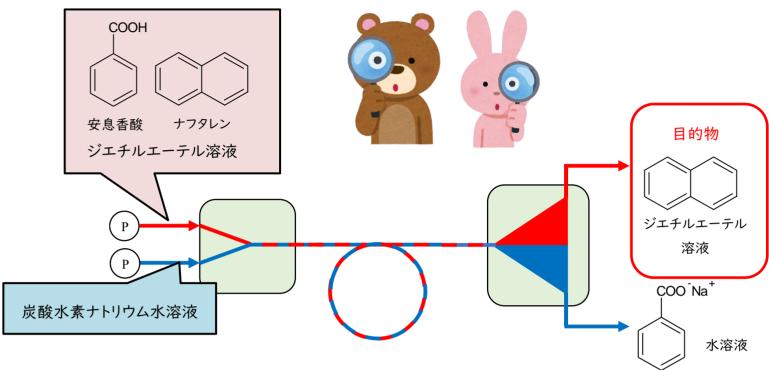
そこで、ミキサーセトラーで一気に解決!



- 装置は固定。
- 少量ずつ処理するのでガスが発生しても問題なし。
- 条件は数値で設定するので誰がやっても同じ。
- 人力はほとんど必要ない。
- 工程を連続化できる。
- 自動化可能。

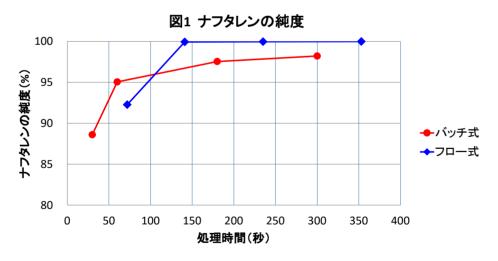


実施例



ナフタレンと安息香酸の混合物から安息香酸を酸-塩基抽出で除去し、ナフタレンのみを取り出して精製することを試みました。

得られたナフタレンのジエチルエ―テル溶液をガスクロマトグラフィーで分析した結果が図 1 になります。ナフタレンの純度はバッチ法と同等、あるいはそれ以上となり、ミキサーセトラーの優れた性能が発揮されました。更にナフタレンの回収率は 99%以上でした。



መマックエンジニアリング株式会社

<フローリアクター開発センター> 〒719-0252 岡山県浅口市鴨方町六条院中 1353

Tel: (0865)-54-0311 Fax: (0865)-54-0322